

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
主な質疑	3
委員会研修報告	4
12月定例会 議案等審議結果一覧	4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

# 議会だより

発行  
那須烏山市議会

編集  
議会広報委員会

事務局  
☎0287-88-7114



一斉にスタートを切る約700名のランナー(12月7日那須烏山マラソン大会・ハーフコース)

12月定例会が11月28日(金)に  
招集され、12月10日(水)までの  
13日間の会期で行われました。  
提出された議案等の審議の結果  
は4ページに掲載しております。

※なお、議決された議案等の内容など、詳しくは  
「広報那須烏山第112号」をご覧ください。

## 一般質問議員と質問項目(質問順)

**滝口 貴史** 議員

- 1 地方創生グローバルな人材の育成について
- 2 魅力ある観光資源づくりについて

**中山 五男** 議員

- 1 学校教育について
- 2 霞ヶ浦導水事業について
- 3 道路行政について
- 4 市税等公金の徴収対策について

**平塚 英教** 議員

- 1 那須烏山市合併10年目を迎えてJR烏山線の利用向上と駅周辺整備について
- 2 介護保険制度と「新総合事業」について
- 3 小規模企業振興基本法と地元業者育成対策について
- 4 烏山城の確認調査と活用について
- 5 高齢者の生涯スポーツ育成支援を

**小堀 道和** 議員

- 1 農業後継者確保問題について
- 2 中高生たちによる山あげ祭り他の英語ガイド親善大使構想について

**高田 悦男** 議員

- 1 子育て支援について
- 2 ウォーキングトレイルについて
- 3 県道10号線について
- 4 ゴミ収集について
- 5 林業振興について

**高徳 正治** 議員

- 1 地域ブランド品の認定について
- 2 花公園について
- 3 龍門の滝周辺の遊歩道について
- 4 JR烏山線鴻野山駅の駐車場と待避場について
- 5 地域通貨券の運用について

**矢板 清枝** 議員

- 1 子育て支援の充実について
- 2 防犯対策について

**田島 信二** 議員

- 1 スクールバス再編について
- 2 砂防ダムについて
- 3 市道拡幅工事の進捗状況について

**久保居 光一郎** 議員

- 1 市内全域への防災ラジオシステム導入について

**渋井 由放** 議員

- 1 指定廃棄物処分場について
- 2 学校教育施設の整備について
- 3 こぶし温泉の解体と跡地利用について
- 4 ゴミの収集について
- 5 文化庁の補助金について

**樋山 隆四郎** 議員

- 1 人口問題について

※赤太字になっている項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

## 議会の動き

平成26年10月

25日○議会だより第34号発行

27日○総務企画常任委員会視察研修  
(28日まで・神奈川県茅ヶ崎市)

11月

10日○文教福祉常任委員会視察研修  
(11日まで・埼玉県秩父市)

12日○経済建設常任委員会視察研修  
(13日まで・山梨県山梨市他)

21日○議会運営委員会  
○議員全員協議会

28日○議員全員協議会  
○第5回定例会  
(12月10日まで)

12月

3日○議会広報委員会

5日○行財政改革調査特別委員会

8日○議員全員協議会  
○各常任委員会

10日○議会運営委員会  
○議員全員協議会

○予算・決算要望意見等追跡調査評価報告書提出

平成27年1月

15日○議会広報委員会

20日○議会広報委員会



# 平成26年12月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。  
会議録は市立図書館及び市ホームページで  
閲覧できます。

## 滝口貴史議員

### 公共施設再編整備計画について

(問)公共施設再編ほか公共事業についてどの事業を先にやるか明確に順位をつけていただきたい。

(答)優先的に取り組むべき事項は3つ。1点目は武道館、2点目は歴史資料館である。どちらも東日本大震災に伴う施設の破損、老朽化などの影響により早期整備が急がれている。3点目は、山あげ行事のユネスコ無形文化遺産登録を控え、那須烏山市の玄関口にふさわしいJR烏山駅前整



老朽化等が懸念される資料館

備と山あげ会館リニューアルを優先する。これらについては、後期基本計画の計画期間である平成29年度までに整備完了できるように調整を進め、合理的、効果的なまちづくりを推進していく。その他のまちづくりプランについても厳しい財政状況、地元住民、関係団体との協議、調整に必要な期間を考慮し、次期計画に委ねざるを得ないプランもあるが、選択と集中を肝に銘じ、着実な実行に向け引き続き調整を進めていく。

## 中山五男議員

### 土曜授業の実施について

(問)学校週五日制完全実施から14年が経過する。しかし近年、家庭や地域と連携した学習活動等の土曜授業が全国に広まりつつある。そこで本市小中学校では土曜授業が必要か否か伺う。

(答)教育委員会が必要と認めれば土曜授業が可能。現在七合小で学習発表会などを実施している。今後の土曜日の教育活動のあり方については、他市町の動向などを踏まえ検討したい。

### 霞ヶ浦導水事業について

(問)本事業是那珂川の生態系に影響を及ぼす他、霞ヶ浦の湖水流入により水質悪化が危惧されている。那珂川から深く恩恵を受ける地元市長が本事業を傍観して許されるはずがない。市長是那珂川流域の他市町に呼び掛け、行動を起こすべきでないか。

(答)那珂川は日本一の遡



清流那珂川にかかるやな

上を誇る鮎の産地であり、市民の貴重な財産でもある。今後は県や関係自治体と連携しながら対応したい。

## 平塚英教議員

### 烏山城の確認調査について

(問)東日本の城は土塁が中心で石垣を築くことは少ないが、烏山城は本格的な石垣を持つ学術的にも貴重な城である。烏山城の確認調査は国の補助を受けて実施されたが、全体的な調査はこれからというのが実情であり、本市単独の事業としても地権者等々の理解と協力を得ながら引き続き確認調査を実施したい。

(答)烏山城は15世紀前半に那須氏一族により築城され、明治の廃城まで烏山藩の居城として存続した城郭である。平成21年度から国庫補助を受け、5年間確認調査を実施した。その結果、古本丸の土塁は何度も改修していることや、本丸に複数の礎石があり、建物跡の存在が確認された。しかし、調査は全体の一部に過ぎず、今後とも地権者等の理解と協力を得ながら国

庫補助を入れて順次調査を進めたい。来年度は三の丸の測量調査を予定しており、国庫補助が受けられない場合でも、市単独事業により調査を実施してまいりたい。

## 小堀道和議員

### 農業後継者確保問題

(問)農家のほとんどが高齢者、しかも次世代は継ぐ意思がなく耕作放棄地だらけになる。農業の担い手対策が急務である。現状を正しく判断するため全農家対象に5年後、10年後、子供世代の農業後継問題についてのアンケート調査を実施し具体的な対策を取るべきと考えらるがどうか。

(答)農業は本市の基幹産業であり、農業政策の大転換が進められる中、改めてアンケート調査を実施したい。

### 中学生による山あげ祭り他英語ガイド親善大使構想

(問)山あげ祭りが世界文化遺産に登録されると外国の遺産に登録されると外国のお客が増える。案内役として中学生有志による英語ガイド親善大使活動を提案したい。国際交流協会や宇都宮大学等の団体と連携すること子供達にとって日常的活動も可能である。本市の歴史的文化と教育の高さをPRする絶好の機会となるがどうか。

(答)すばらしい提案だ。実施できるよう努力したい。

## 高田悦男議員

### 幼児向けの公園整備

(問)幼児の遊び場の確

保と公園整備については、4回目の質問になる。2000年ミレニアム記念の桜が植樹された調整池付近が適地ではないかと考える。

(答)隣接する図書館及び保健福祉センターは、子供の利用も多く、子供が遊ぶ広場として非常にいい場所である。しかし、主に小さなお子さまが利用する公園として整備することを考慮すると、堰堤部分の構造、防犯カメラ、防犯灯、さらにはスロープの増設、遊具設置が可能かを含め、問題は多々ある。現地を詳細に調査し、安全対策について十分に研究して、利用者が安心して利用できる公園整備について、検討していく。

### ウォーキングトレイル

(問)平成16年、「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に選ばれたが観光資源として生かすためにも継続的な整備の必要がある。

(答)沿線における草刈り等の回数を増やすことにより、景観の向上に努め、安全、安心に利用できるよう、より一層の憩える環境づくりに努めていきたい。



ウォーキングトレイルの大金吊り橋

## 高徳正治議員

### 地域ブランド品の認定について

(問)当地域には、数多くの特産品や当地域ならではの商品がある。評価の高いものを地域ブランド品として認定すべきと考えられているがどうか。

(答)那須烏山市雇用創造協議会や商工会と連携し、農工商連携推進協議会の設立の上、6次産業化の推進に取り組み、市として誇れる特産品の開発に努める。



ひまわり畑を走るアキュム

### 花公園について

(問)全市花構想と菜の花の里構想は、観光資源創出のプロジェクトになっている。しかし、本来の目的である観光客が回遊できる戦略を樹立し、入込み倍増とする目標には届いていない気がするがどうか。

(答)JR烏山線沿線の森田地区や滝地区の遊休農地に、ひまわりやコスモスを植栽した。しかし、遊休農地はブロックローテーションで移動するため観光客には分かりにくいなどの意見もある。これらを踏まえ、

花公園の固定化やイベント等の開催による集客力の向上に努める。

## 矢板清枝議員

### 子育て支援の充実について

(問)今後力を入れていく子育て支援策は何か、伺う。

(答)放課後児童クラブの充実、多様化するニーズに対応した保育サービスの質の向上、要保護児童への対応強化を進める。なお平成27年度にこども館を拠点としたファミリーサポートセンターを設置し、病児・病後児保育については済生会宇都宮病院の広域利用を可能にする。また平成27年4月から始まる「子ども子育て支援新制度」へスムーズに移行できるように取り組む。

(問)こども館の老朽化について市の考えを伺う。

(答)修繕を必要とする箇所が多いことや耐震強度の面からも早急な対応を余儀なくされているところ。現在策定を進めている公共施設再編整備計画により中心市街地における公共施設等の複合化も含め検討し、事業連携による機能充実を図ることも考えている。放課後児童クラブは、施設の状態等を勘案し、学校の余裕教室の活用について学校関係課と連携を図りながら検討を進める。

## 田島信一議員

### 市道拡幅工事の進捗状況について

(問)「市道谷浅見平野線」の七合小学校より富谷







総務企画常任委員会

研修報告

当委員会は、昨年の10月27日、28日に神奈川県内視察研修を行いました。その内容の中から、全国に先駆け防災ラジオシステムを導入した茅ヶ崎市での研修について報告いたします。



茅ヶ崎市職員による防災ラジオの説明

烏山地区に防災無線がない現状を踏まえ、また、今後増加する高齢者世帯への防災情報伝達の手法として、防災ラジオシステムの導入を図ることは、本市においても検討に値すると感じた有為な視察研修でした。

委員長 久保居光一郎

文教福祉常任委員会

研修報告



ジオサイト(ジオパークのみどころ)で説明を受ける委員

文教福祉常任委員会は平成26年11月10日、11日に埼玉県秩父市において先進地視察研修を行いました。

①ジオパークについて

関東でも先駆けてジオパーク認定を受けた秩父。地形、土地利用状況、自然の景観など本市と似た部分が多く、申請に至るまでの経過、取り組み、認定後の各種分野における施策展開、特に西武鉄道等の民間の鉄道・バス会社を巻き込んだ着地型滞在型観光への誘客は大変参考になりました。

②山・鉾・屋台行事ユネスコ登録について

日本三大曳山祭の一つ秩父夜祭。全国山・鉾・屋台保存連合会の事務局を担当。ユネスコ登録に向け文化庁との連携、進捗状況、住民との協力体制、市職員の役割、登録後の課題取組みについてなど詳細にわたる意見交換を行いました。

委員長 沼田 邦彦

経済建設常任委員会

研修報告

当委員会は11月12日、13日に視察研修を行いました。まず、空き家バンクの先進地である山梨市ですが、宅建協会と市の連携による空き家の提供者と利用希望者がスムーズにやりとりできる仕組みが印象的でした。

長野市では地域の女性農業者たちによる「たんぼぼ」を視察。野沢菜の栽培から漬物販売を始め、以降野菜の直売、惣菜等の販売、さらには売れ残った野菜を利用してのおやきを販売と次々に事業を拡大。6次産業の優良事例として大いに学ぶべきものがありました。

最後は前橋市の「ファームドゥ食の駅」を視察。生産者と消費者を繋ぐ直売所を地元だけでなく都心にも拡大。また、農家をサポートし、高齢者の活用、レストラン経営などあらゆる角度から農家の抱える問題を上手に解決していました。何れも本市の抱える悩みの解決のヒントになるものであると強く感じました。

委員長 川俣純子



「たんぼぼ」の名物社長の講話の様子

12月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

Table with 4 columns: 議案等, 審議結果, 議案等, 審議結果. It lists 16 items, all with '可決' (Adopted) results.

(起立による採決)

Table for standing vote results. Columns include 議案等, 審議結果, and a grid of 議員別賛否一覽 (Member-wise Support/Opposition/Abstention) for 16 members.

\* 掲載は上程順で、議長(佐藤昇市議員)は表決に加わらない。\* 議案第7号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決

議会を傍聴してみませんか 議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(TEL0287-88-7114)

3月定例会は、3月3日(火)開会予定です。\* 正式な日程は2月24日に開催される議会運営委員会で決定されます。

あしがき

謹んで新年のお慶びを申し上げます。 昨年は、4月20日執行の市議会議員選挙で女性3人を含む18人の議員が誕生いたしました。投票率を見ると67・23%で前回から4・69ポイント下がり非常に残念です。「期日前投票」「ネット選挙の解禁」などの策では、歯止めをかけることが出来ず、特に若い世代の低さが問題となっております。

目を外に転じると、都議会のセクハラヤジ、兵庫県議の号泣会見、青森県平川市議20人中15人逮捕、などの不祥事により「地方議員」が異例の注目を集める年でもありました。 また、「日本創生会議」が人口減少で将来消滅する可能性のある自治体が896に上ると発表して全国に衝撃を与えました。 当市には、少子高齢化対策をはじめ解決しなければならぬ問題が山積し、より具体的な政策や抜本的改革に向けた取組が必要で足踏みは許されないので現状であります。

議会は、議員一丸となり問題解決に向けた実現性のある政策提言を行うことを約束し、年頭の挨拶に代えさせて頂きます。(議長 佐藤昇市記)

